

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	地域療育支援事業所 第2はまゆう療育園 (児童発達支援)
------	---------------------------------

公表日

利用児童数 2025年1月1日現在 29名

回収数 25名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25				たくさん動きまわれるスペースがあります。	室内の凸部ヘクション保護を施してケガ防止に努めております。使用する教材や器具の点検も実施しております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		2	不自由なく支援を受けています。言語聴覚士がもう少しいると空き枠が増えて良いと思います。(天草の他施設はほとんどいないため)	リハビリ専門職(言語聴覚士、作業療法士)を含む2名以上の職員配置で、基準に沿った配置数となっております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2		3		学習の場という意識が持てるよう室内の装飾を極力控えています。またバリアフリーとしてはエレベーターを完備しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25					感染対策を徹底し、療育前後に室内、教材、器材の消毒を実施しております。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25					こどもの特性に合わせ専門職を配置し療育支援を行っております。保護者も参加される(母子療育)ことにより、一緒に課題検証や家庭に帰ってからの振り返りが出来るアドバイスも行っております。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23			2		支援プログラムはHPへ掲載しております。プログラムに沿った支援を実施しております。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25				面談時に伝えていた「活動要望」がしっかりと計画に入っていました。	保護者様の要望と専門職の意見を客観的に分析・判断し、立案しております。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23				2	「本人支援」「家族支援」「移行支援」の支援内容から子どもの特性に合った項目を選択し、具体的に設定しております。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25					計画書に沿って支援(療育)を行っております。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				4	活動の順番など、子どもの状況に合わせて取り組んで頂いています。	「飽きやすい」という子どもの特性を考慮し、常に新しい情報や工夫を療育に取り入れております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	3	11	遠方から通っているため、地域の活動までは参加出来ません。	保育園の先生方の療育見学が増えてきました。保護者様と3者で意見交換が出来るようになりました。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					利用開始(契約)時に実施。今後は園内掲示にて周知していきます。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					計画書を示しながら内容説明を行っております。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16			1	8	療育支援センターの情報を園内掲示し、必要に応じて個別にLINEで情報提供しております。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	23				2	保護者同席のため、常にこどもの状況等について話しをしております。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2			2	療育時に困りごとなど相談させてもらっております。	療育時間外の空いた時間を活用し、相談対応をしております。面談は見直しと更新時の年2回実施しております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24				1		常に保護者様の心情に寄り添った対応を心掛けております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	3	16	16	遠方の為、機会はあったかもしれませんが、参加できていません。	「他者に障害者施設に子どもが通っている」ことを知られたくない保護者心情があり、また療育時間がそれぞれ違うため保護者の都合が合わない状況です。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21				4		相談については随時受付対応出来ており、苦情については施設内のポスターと投書箱にて周知しております。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1		2		先入観や思い込みでなく、子どもの行動前後の様子から「思い」を読み取る配慮をしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	5	1	6		LINEの連絡活用率は100%で、評価結果は毎年ホームページにて公表しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25					データや個人情報はカギ管理しており、守秘義務についての職員研修も実施しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	4	1	8		利用開始（契約）時に説明していますが、今後は更新時にも周知・説明していきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9		3	13	療育の時間しか居ないため、参加出来ていません。	計画に沿って訓練を行っております。今後はホームページ上でも公表し周知していきたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20		1	4		利用開始（契約）時に危険のない環境整備の説明をしておりますが、今後は定期的に説明の機会を設けていきたいと思っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			10		母子療育（保護者同席）のため、あらかじめ連絡する機会はありません。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25					子どもは保護者同席ということで、安心して課題に取り組めております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	2		1	利用した次の日には、「またお勉強（療育）に行きたい」と毎回楽しみにしております。	「楽しみながら」の療育を基本に進めております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25					「課題の増量」の要望も多く聞きますが、子どもの「達成できる範囲」を意識し設定しております。